



## 祈り



祈りとは人と神との対話あるいは交通である。祈りが神との対話・交通である以上、その形式も、内容も、対象もさまざまである。自己の内部で神に語りかける場合もあるだろうし、神の声に耳を澄ます場合もあるだろう。一人であるいは集団で祈ることもある。内容も神への賛美、感謝、悔改、祈願などがある。対象も死者、自然神、守護神、至高神などである。イスラームのスーフィーから仏教の念仏行者まで地域や文化によって異なる。

神への崇敬の念を表現する儀礼的あるいは祭祀的な行為である礼拝も祈りであろう。礼拝という単語は聖書ヘブライ語で「アボーダー」だがその原義は「仕える、労働する」で、転じて「平伏する」という意味になる。アラビア語もヘブライ語と同じセム語である。アブドゥッラーというムスリム名は誰もが知っているが、「アッラーの僕」の意味をもつアラビア語で、アブドは「僕」の意味である。アッラーと信徒の対話はアッラーへの絶対服従を通してムスリム同胞としての絆を強める。

祈りが地域や文化によって異なるように、地域研究のあり方も、地域研究者も多様である。そんな多様性を包み込んだ地域研究コンソーシアムが発足して一年が過ぎた。統一性の下で多様性を育んできたコミュニティとしての地域研究コンソーシアムのさらなる発展を心から祈るものである。  
(文・臼井陽)

# 地域研究 コンソーシアム ニュース No.01

Japan Consortium for Area Studies

発行日 2005年6月30日 発行 地域研究コンソーシアム

### ●CONTENTS

- ◆2004年度年次集会開催報告……臼杵陽/遅野井茂雄/小森宏美
- ◆活動の記録 2004年4月～2005年4月
- ◆地域研究者の視座 黒潮圏海洋科学研究科が目指すもの……深見公雄
- ◆傍目八目 救急医療と地域研究——スマトラ島沖地震・津波救援の経験から……丸山嘉一
- ◆JCAS短信
- ◆エッセイ フィールドと出会いと 社会主義の記憶と歴史……篠原琢

